

平成26年度学校目標設定報告書

次のとおり学校目標を設定しましたので報告します。

学校目標	取組の内容	
	具体的な手立て	評価の観点
<教育課程> (1) 生徒一人ひとりの進路希望に応じたカリキュラムを充実させ、生徒の学習意欲を高め、学力の向上を図る。 (2) 国際理解教育を推進し、他者理解を深めることによって、広い視野を持った生徒を育成する。	(1) ①少人数・習熟度別編成により英語教育の指導内容・指導方法の充実を図る。 ②生徒が主体的かつ興味・関心を持って取り組めるよう理科の学校設定科目の内容の充実を図る。 ③生徒個々の進路目標に応じた選択科目や学校設定科目の充実・改善を進める。 ④学校行事の年間計画における配置の検証を行い、学習活動と学校行事の両立を図る。 (2) 学年ごとの国際理解講座を充実させ、他者を理解するためのコミュニケーション能力の向上を図る。	(1) ①英語教育の内容・指導方法を充実できたか。 ②理科の学校設定科目の内容を充実できたか。 ③選択科目や学校設定科目の充実・改善を進めることができたか。 ④学校行事の配置の検証及び改善ができたか。 (2) 国際理解講座をとおして、生徒のコミュニケーション能力が向上したか。
<生徒指導・支援> (1) 組織的な教育相談体制のより一層の整備を図る。 (2) 生徒の自己肯定感や規範意識を高める取組を推進する。	(1) 支援を必要とする生徒への組織的な教育相談体制を充実させる。 (2) ①生徒の部活動参加意識を高め、部活動をとおして自己肯定感を持たせるとともに、社会性の育成を図る。 ②服装・頭髪指導を充実させるとともに、安全かつマナーを守る自転車乗車指導の徹底を図る。 ③生徒会を中心とした生徒主体の校内美化、地域清掃活動、節電等への取組を推進し、生徒の環境意識を高める。	(1) 組織的な相談体制を充実できたか。 (2) ①部活動入部率が向上したか。 ②服装・頭髪指導が徹底できたか、自転車乗車マナーが向上し安全意識が高まったか。 ③生徒の環境意識を高める取組ができたか。
<学習指導・授業改善> 組織的な授業改善を推進し、生徒の基礎学力の定着を図る学習指導体制を充実させる。	①家庭学習等の自学自習の習慣を身に付けさせるために、小テストの実施や宿題の課し方等を工夫する。 ②言語活動のより一層の充実を図り、研究授業をとおして成果の検証を行う。 ③教科会の定例化及び研究授業の推進を図り、教員の教科指導力を向上させる。 ④授業評価アンケートを迅速に集計し、授業改善に反映させる。	①小テストの実施や宿題の課し方等が工夫できたか。 ②言語活動の充実について検証及び改善できたか。 ③教科会の定例化及び研究授業の推進ができたか。 ④授業評価アンケート結果を授業改善に活かしたか。
<キャリア教育> (1) キャリア教育実践プログラムの充実を図る。 (2) 学年ごとの発達段階に応じた進路支援活動を充実させる。	(1) キャリア教育実践プログラムを活用するために、職員のキャリアカウンセリング能力の向上を図る。 (2) ①学年ごとの進路支援体制を充実させ、学年・担任による的確な進路情報を生徒に提供する。 ②自ら将来設計ができる生徒を育成するために、職員による動機付け・意識付けを徹底する。	(1) 職員のキャリアカウンセリング能力が向上したか。 (2) ①的確な進路情報を生徒に提供できたか、進学実績が向上したか。 ②動機付け・意識付けが徹底できたか。
<地域等連携> 保護者・地域・他校種との連携を図り、開かれた、親しみやすい学校づくりを進める。	①HP や他校訪問をとおして広報活動のより一層の充実を図り、学校の教育活動について保護者や地域の人たちに積極的に情報提供を行う。 ②学校行事や地域清掃活動等をとおして、分教室や地域の小中学校との連携・交流を推進する。 ③地域の人たちのニーズを踏まえて、公開講座の内容の充実を図る。	①HP の迅速な更新ができたか。 ②分教室や地域の小中学校との連携・交流ができたか。 ③公開講座の内容が充実できたか。
<学校運営・学校管理> (1) 非常時に対応できる防災教育や防災訓練への取組をとおして、生徒・職員の防災意識を高める。 (2) 職員一人ひとりが事故・不祥事を根絶できるよう意識改革に努める。	(1) 防災訓練の内容を充実させ、非常時に対応できる訓練を実施する。 (2) ①若手教員の人材育成を目的に組織的に研修会等を実施し、教員としてのモラルや心構え等について意識啓発を行う。 ②職員一人ひとりの心に届く不祥事防止研修を実施し、事故・不祥事の根絶に努める。	(1) 非常時に効果的に対応できる訓練が実施できたか。 (2) ①若手教員向けの研修会が実施できたか。 ②職員一人ひとりの心に届く不祥事防止研修が実施できたか。

教育目標・教育方針・中長期的な方針など

- 学びに向かわせる「仕掛けづくり」を意識した教育課程の編成と授業研究の推進を図る。
- 3年間を見通した進路指導計画のもとに、一人ひとりの進路実現に向けたキャリアカウンセリングを充実させる。
- 国際理解教育をとおして国際社会の課題や多様な価値観への理解を深め、果たすべき役割を考えさせる。
- 部活動、生徒会行事、地域社会との交流などをとおして自己肯定感を高め、他者を思いやる心、社会の一員としての規範意識、社会に参画する態度の育成を図る。
- 交通安全指導、防災計画を常に見直し、安全・安心な教育環境の整備を行う。